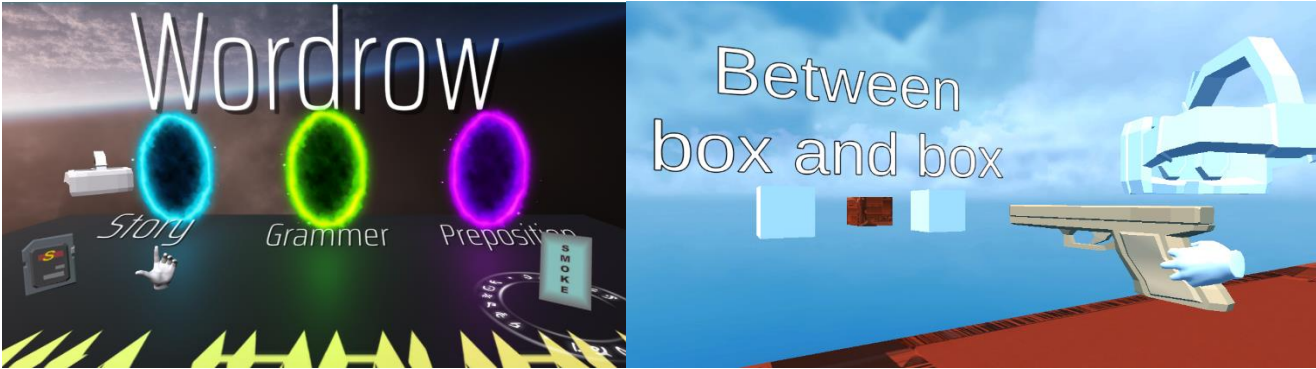


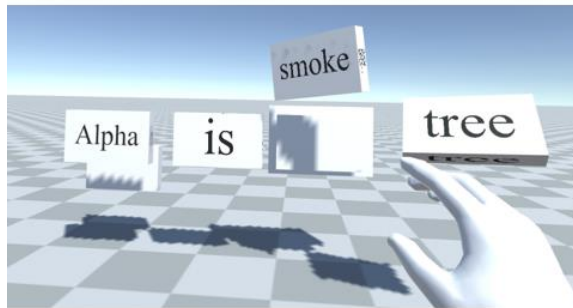
チーム名	/*単純マルコフ情報源*/
アプリ名	Wordrow (ワードロー)
アプリ概要	<p>このアプリは、Virtual Reality (VR) の技術に基づいて英単語の記憶を補助するアプリケーションです。VR空間中で英単語学習を行うことにより、英単語の意味をイメージとして体験するという、これまでにない学習体験を提供します。従来の単語帳等を用いた英単語記憶とは異なり、楽しみながら英単語に触れられるという点が、このアプリの最大の特徴です。さらには、英単語のみならず、初歩程度の文法・前置詞の使い方も学ぶために、Story・Grammer・Prepositonの3つのモードを備えています(図1)。Storyモードでは、具現化された英単語の意味を用いてゲームを進行させていきます(図3)。Grammerモードでは、英文法を用いたパズルを解くことにより、英文法が示す意味が実際にVR空間の中で発生し、それによりゲームを進行させていきます(図4)。Prepositionモードでは、前置詞が表す状況をそのまま体験できます(図2)。Wordrowという名前は、VR空間の中で、英単語の意味をイメージとして描画するという象徴的な機能を由来としています。ターゲットユーザとしては小中学生程度を想定しており、英語に触れたことのない、または英語初心者が英語を学習する初めの一步として活用することを狙いとしています。</p>
アプリ画面	 <p>図1：スタート画面 図2：Prepositionモード画面</p>



コントローラのトリガを引く



図3：StoryモードでTREEカードを用いた際の動作



英文中の空欄を埋めることにより
英文が表す内容を体現する

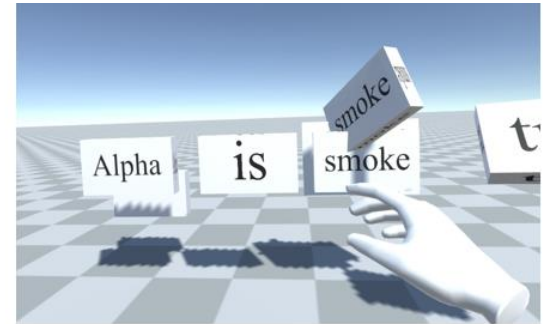


図4：Grammerモードの動作

※画像はすべて開発中のものです。

コンテストへの意
気込み

私たちは、授業や実験で得た知識や技能を生かしてみたいと考えたため、今回初めてチャレキャラに参加しました。学校での実験では先生などにより手順が示され、指導を受けながら開発を行ってきました。しかし、チャレキャラでは、何を作りたいか、そのために何をしなければならないか、どのようにしなければならないかを自分たちで考え、実行し、改善していく必要がありました。チャレキャラへの参加時点では、VRアプリの開発、およびデザインやワールド設計というものはチームの3人全員が初めてのことであり、かつUnityの操作には慣れていない状態であったため、初期段階から開発は困難を極めました。途中、無慈悲なエラーに幾度となくぶつかり、作りきれないかもしれない、と思うこともありました。しかし、どんなときもチームの3人で励ましあい、協力しながら今回のコンテストまで開発を続けることができました。そうして3人で一生懸命開発したこのアプリが、もし誰かの英単語を学ぶきっかけになってくれたなら、これに代わる嬉しさはないと、チーム一同思っています。